

協働パイロット事業 (H22) 企画提案書

団体名：海辺工房ひとで

1. 事業の名称

博物館を活用した子育て支援事業

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

「子どもには小さな時から色々なことを見せたり、聞かせたりしたい」というのは多くの親が思っていることです。しかしそうは思っているも、子どもがまだ未就園前の小さいうちは出かけて行く場所や時間が限られるため頻繁に出かけることは難しい上に、子育て中の親は外部からの情報を得る機会が少ないために家庭内ですることができることも限られています。その結果、特に平日においては、子どもとの過ごし方がワンパターンになってしまうというのが実情です。

これを解消するために本事業では、市内にある博物館に呼びかけ、館が有する人材・資料・空間等を活用しつつ、それら施設が未就園前の小さな子どもとその親が気軽に訪問でき、楽しみながら学び過ごせる居場所や、過ごし方のアイデアを提供するという、広い意味での「子育て支援事業」を行います。事業に際しては、既に協働の実績がある東海大学海洋科学博物館との連携を予定しています。そこを活動拠点として以下の事業を実施します。

(1) 未就園児とその親を対象としたプログラムの開催

水族館での観察および、未就園前の子どもが理解でき、親子で楽しめる海の生き物をテーマとするプログラムを展開。

(2) 参加者への利用者調査実施と分析・とりまとめ

参加者へ向けた利用者調査を実施し、分析結果から博物館における子育て支援を行う際の留意点についてまとめ、今後の同事業の参考となる資料を作成する。

現在、国内で「子育て支援」という観点からの博物館の活用という例はまだ見ていません。この事業による成果は、子育て支援に加え、博物館の新たな機能・価値を発掘する取り組みとして大いに期待されるものである考えます。よって以上の事業を推進し成果をあげるために、交通費、教材費等の経費は必要不可欠であり、この面で市の援助をお願いいたします。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

◆当会の役割

- (1) 未就園児とその親を対象としたプログラムの開催
東海大学海洋科学博物館との調整、プログラムの開発、参加希望者の管理、事業日当日の運営およびスタッフ確保など事業実施に関する一連の作業
＜実績＞
- ・2004年10月 独立行政法人科学技術振興機構 地域科学技術理解増進人材の活動推進・人材育成事業・理科大好きボランティア活動支援実施（場所：東海大学海洋科学博物館）
 - ・2006年9月 財団法人日産科学振興財団 理科・環境教育助成事業実施（場所：東海大学海洋科学博物館）
 - ・2009年10月 日本財団助成事業実施（場所：東海大学海洋科学博物館）
- (2) 参加者への利用者調査実施と分析・とりまとめ
調査項目の設定、調査スタッフ確保、分析・とりまとめなど、事業実施に関する一連の作業
＜実績＞
- ・2009年12月 乳幼児連れ利用者調査（場所：伊丹市昆虫館（兵庫県伊丹市））

◆行政へお願いしたいこと

- ・資金面での支援
 - ・広報活動に対する支援
- 参加募集チラシを市管轄施設に設置・掲示すること、関連事業（講演会、イベント）での告知の許可をいただきたい。

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

- (1) 未就園児をその親を対象としたプログラムの開催
- ・未就園児を持つ親に新たな居場所や体験の機会を提供するこれまでにないプログラムを開発しモデル実施する。
- (2) 参加者への利用者調査実施と分析・とりまとめ
- ・未就園児とその親を対象とした事業を実施する際の留意点や課題を明らかにする。
 - ・事業結果を行政、博物館の側にも提示し、「未就園児とその保護者」という新たな利用者層の存在に気づき、対応を検討してもらう。

5. 事業計画

【実施活動】

(日程) 2010年11月 10:00~12:00 2回開催

(対象者) 未就園児の親子 各回 20組 40名

(場所) 東海大学海洋科学博物館

(内容)

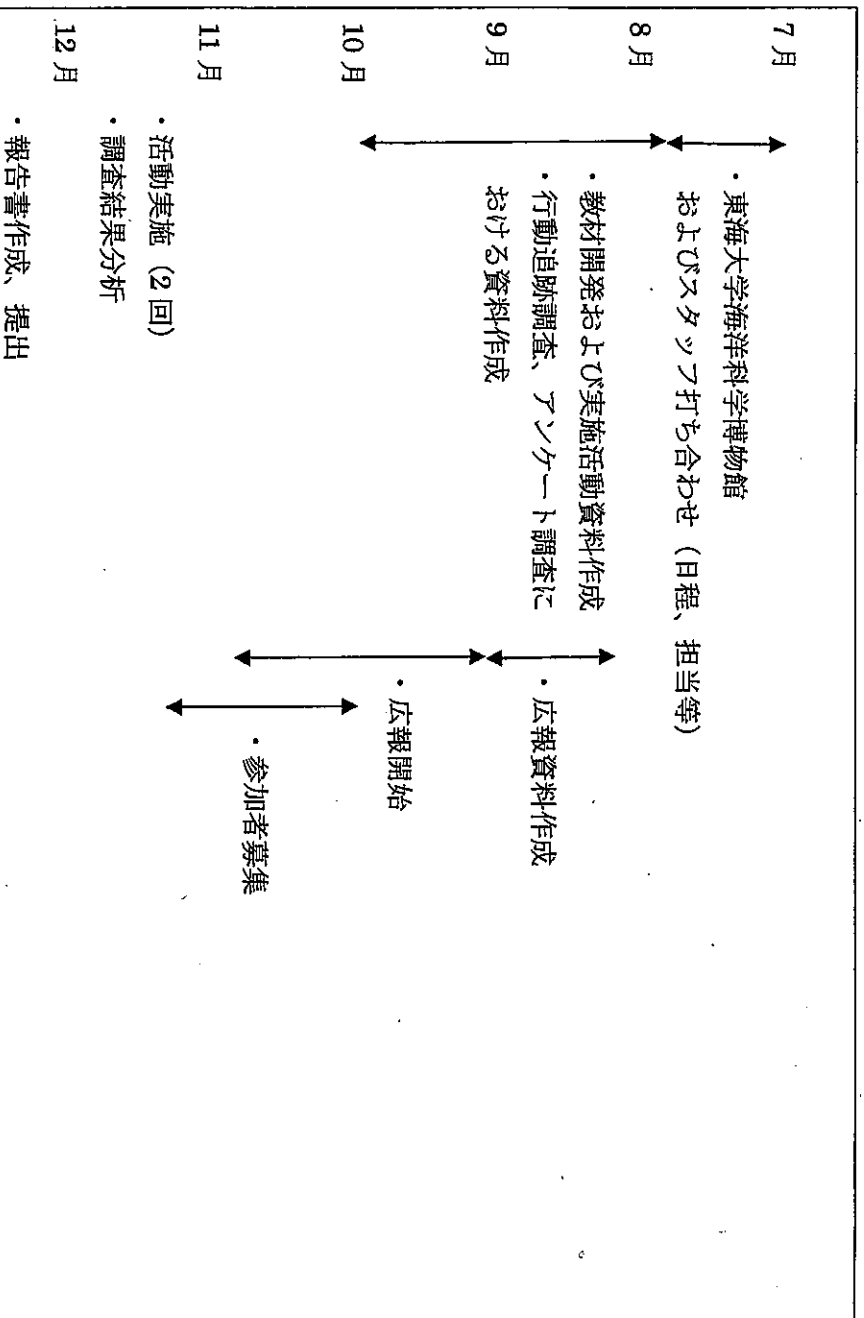
- 1、「好きな生き物、いろ・かたち」博物館内の展示物を利用した教育活動として親子で生き物を観察した後、それぞれ興味を持った生き物のぬりえや絵を自由に描く。その後、スタッフが生き物について解説。
- 2、「海の生き物エゾロシアター」海洋生物にもっと親しみが湧くように生物の形や特徴を考慮し、作られた物語をエゾロシアターとして行う。
- 3、「海のクラフト」小さな子供でも海という自然がイメージしやすくなるよう、貝殻など海に関する材料を使用したクラフトを親子で作成。

【行動追跡調査・アンケート調査】

活動実施時における参加者の行動や会話などを観察、また、活動後のアンケート調査を行いそれら进行分析する。それら資料を基に子育て及び幼児教育における博物館の役割等をまとめる。

【実施スタッフ】3名

6. スケジュール



7. 実施体制および主要スタッフの経歴

【統括リーダー】野口なつき (海辺工房ひとで代表)

東海大学海洋学部在籍中、海の環境教育推進のため2000年に「海辺工房ひとで」を設立。専門分野は海洋生態学および保全生態学。環境カウンセラー、自然観察指導員、静岡県環境学習指導員。

【プログラム担当】内田みや子 (関西大学大学院 博士課程後期)

民間展示製作会社勤務を経て独立。現在はフリーの展示プランナー。おもにプログラムの企画および学習教材の企画から制作を得意とする。」

【調査分析担当】川人よし恵 (大阪大学 21世紀懐徳堂 特任研究員)

当会と同主旨の市民活動グループ「子育てがもつと楽しくなるミュージアムづくり研究会」代表。昨年度から当会と連携を開始。専門は学びの場づくりやまちづくりなどの調査分析。

8. 特にアピールしたいこと (専門性、独自性、先駆性、実績など)

最近、博物館は、授乳室やおむつかえシートなどの設備が充実し、天候に左右されず訪問することができるという点で、親や祖父母が安心して小さな子どもを連れて行ける場所としての評価は高まっています。このことは多くの館で年々小学生未満の子どもとその保護者というグループの来館者数が増加していることから明かです。ところがハード面の充実に対し、未就園前の小さな子どもを対象とした展示物やプログラムの提供といったソフト面での対応を行っている施設はまだ少ないようです。前述のとおり、「子育て支援」という切り口でそれを行っている施設、自治体は皆無です。私たちのグループはこのような施設に対し、ユーザーの立場から、乳幼児連れでも楽しめるようなソフト面での充実を働きかける活動を行っています。様々な立場で博物館に携わってきた者がメンバーであり、その分野も今回の海洋科学系はじめ歴史系、美術系と多種多様です。この応募を機に、行政と連携することで「博物館の子育て支援機能」というまったく新しい博物館のあり方をより広く社会に発信していきたいと考えています。そして未就園児という新たな利用層が増加することで、幅広い世代の集う地域コミュニティ拠点として博物館を更に活性化させ、多様な人々の交流から新たな文化活動が生まれることを願っています。これを静岡市から発信することで、安心して子育てできる町づくりへもつながる、市の特色づくりの一助になると思われます。

団体名: 海辺工房ひとで

企画のタイトル: 博物館を活用した子育て支援事業

項目	金額	説明
人件費	48,000 円	実施活動日当 8,000 円×3 人×2 回
交通費	50,000 円	スタッフ旅費、ガソリン代 (打ち合わせ等)
通信費	5,000 円	参加者連絡用切手代、電話代等
事務経費	15,500 円	消耗品費 (文具、インク等)
教材開発費	15,000 円	関連書籍費、資料作成費 (参加者配布用、アンケート等)、コピー代等
教材費	20,000 円	参加者配布教材費 500 円×20 人×2 回
活動実費	69,000 円	博物館入館料 23 人×1,500 円×2 回
広報費	15,000 円	用紙、インク代、ガソリン代等
小計 A	237,500 円	
消費税 B = A×0.05	11,875 円	
合計 A+B	249,375 円	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な使途

企画提案の概要書

提案団体名	海辺工房ひとで
企画案のタイトル	博物館を活用した子育て支援事業
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内で ご記入ください。)	<p>「子どもには小さな時から色々なことを見せたり、聞かせたりしたい」というのは多くの親が思っていることです。しかしそうは思っているも、子どもがまだ未就園前の小さいうちには出かけて行く場所や時間が限られるため頻繁に出かけることは難しい上に、子育て中の親は外部からの情報を得る機会が少ないために家庭内でもできることも限られています。その結果、特に平日においては、子どもとの過ごし方がワンパターンになってしまおうというのが実情です。</p> <p>これを解消するために本事業では、市内にある博物館に呼びかけ、館が有する人材・資料・空間等を活用しつつ、それら施設が未就園前の小さな子どもとその親が気軽に訪問でき、楽しみながら学び過ごせる居場所や、過ごし方のアイデアを提供するという、広い意味での「子育て支援事業」を行います。</p>
金額	249,375 円

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ htmlで表現できない複雑な表現方法はご利用できません。